

SAP Xeon quad core and SolidSTOR

- 半導体ディスク、“SD benchmark@200users”において50倍の高速化 -



ストレージ	CPU	OS	メモリ	SD Bench ユーザ数	CPUタイム/DS (秒) (*1)	平均レスポンスタイム (ミリ秒)
SoldSTOR SSD	Xeon/Quad Core 2.6GHz x 2	Win2003 64b	16GB	100	0.058	66
				150	0.058	70
				200	0.061	83
HDD	Xeon/Quad Core 2.6GHz x 2	Win2003 64b	16GB	100	0.064	593
				150	0.069	2,489
				200	0.074	4,410

(*1) CPU_TIME/DS : 1 ダイアログステップあたりの平均CPU時間

◇ SDベンチマーク比較結果

- (1) 1処理(DS)ごとのCPU時間は、半導体ディスク、HDDとも、ほぼ同じです。
- (2) ユーザ数が増加するに従い、HDDは、レスポンスタイムが顕著に低速となります。
- (3) 200ユーザシステムにおいて、半導体ディスクでは、HDDより50倍以上の高速です。

☆ 結論

- (1) 近年のCPU性能の向上により、システムボトルネックは、CPUからI/Oネックへとシフトしてきています。また、ユーザ数を多い大規模システムほど、I/Oネックの影響が大きくなる傾向があります。
- (2) 半導体ディスクの導入により、飛躍的なレスポンスタイム短縮とデータ処理量増加を期待できます。